

平成21年度

登録左官基幹技能者認定試験問題解答 (60分)

東北ブロック

受講番号		氏名	
------	--	----	--

1. 試験時間 60分
2. 問題数 25題 (四肢択一法)
3. 注意事項
 - (1) 試験開始の合図があるまで、この問題冊子はあけないでください。
 - (2) 受講番号と氏名は、問題用紙および解答用紙のそれぞれの所定の欄に必ず記入してください。
 - (3) 本冊子は、表紙を含めて8ページです。次に、問題数を確かめてください。落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所などがあつた場合には、黙って手を上げて申し出てください。
 - (4) 試験開始の合図で始めてください。
 - (5) 解答の方法は、次のとおりです。
 - ①正解と思うものを、1～4の番号の中から1つだけ選んで、解答用紙の解答欄にその番号を、黒の鉛筆またはシャープペンシルで記入してください。
 - ②解答を訂正する場合は、訂正する解答を、プラスチック消しゴムできれいに消した後、新しい解答を記入してください。
消し方が不十分な場合は、2つ以上解答したこととなり正解としません。
 - ③受験番号および選択した番号を正しく記入していないものは、採点せず全問題を0点とすることがあります。
 - (6) 電子式卓上計算機、携帯電話の計算機能その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
 - (7) 試験中、質問があるときは黙って手を上げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方等に関する質問にはお答えできません。
 - (8) 答案ができあがったら、監督者の指示に従って提出してください。ただし、試験開始30分以内の場合は、退出できないので、静かに着席しててください。

社団法人 日本左官業組合連合会

以下の問題をよく読み、解答用紙に正解番号を記入しなさい。

問題 1 建設市場の現状に関して、最も不適当なものはどれか。

1. バブル経済期に 80 兆円を超えていた建設投資は、今後も減少する傾向にある。
2. わが国の既存の建設ストックは、ほぼ充足に近づき、市場の中心が新規需要からリフォーム・リニューアルに移行した成熟期を迎えた。
3. 新規需要の減少は、人口減少に伴いさらに減速すると考えられる。
4. 近年は、若年層の総人口に占める割合が低下し、高齢者層の比率が増加する少子高齢化が急速に進んでいる。

問題 2 基幹技能者制度推進協議会に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 基幹技能者制度推進協議会は、基幹技能者の認定をするための組織である。
2. 基幹技能者制度推進協議会は、専門工事業の各職種、総合工事業の建設業の 4 団体、学識経験者および国土交通省担当者が参画している。
3. 基幹技能者制度推進協議会は、躯体系、仕上系、設備系および土木系の 4 つの分科会で構成される。
4. 基幹技能者制度推進協議会の 4 つの分科会は、基幹技能者の認定水準の明確化や受講資格の統一化を図る等の活動を行っている。

問題 3 建設業法に基づく建設業の許可に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 建設業を二つ以上の都道府県に営業所を設けて営業しようとする者は、国土交通大臣の許可が必要である。
2. 一つの都道府県に営業所が限られている者は、都道府県知事の許可が必要である。
3. 発注者から直接工事を請負い、かつ、3,000 万円以上を下請契約して工事を施工しようとする者が取得する許可は、一般建設業である。
4. 特定建設業の許可を受けようとする者以外の者が取得する許可は、一般建設業である。

問題4 労働安全衛生法に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 事業者は、労働者を雇入れたときは、従事する業務の技能向上のための教育を行わなければならない。
2. 作業主任者は、労働災害を防止するための管理を必要とする作業を行う場合、免許を受けた者又は技能講習を修了した者のうちから選任され、作業に従事する労働者の指導等を行うものである。
3. 統括安全衛生責任者は、同一場所で元請、下請合わせて、常時 50 人以上の労働者が混在する工事現場において選任されなければならない。
4. 労働者が常時 50 人以上の事業場では、安全委員会及び衛生委員会を設けなければならない。

問題5 VE(バリュー・エンジニアリング)に関して、最も不適当なものはどれか。

1. VE の適用範囲は、部品、製品、製造方法、物流、工事などの直接製造コストを構成する要素や、間接業務、販売システムなどまで、広範囲にわたっている。
2. VE は、改善前後の比較を行うことなく、アイデアをつくり提案することにとどまる。
3. VE 活動は、スタッフ活動であり、改善案を作成し、提案することが責任ではあるが、生産活動に対しては、権限も責任もなく、ラインに対して提案するまでが、プロジェクトチームの役目である。
4. VE 提案は、各部分ごとに、個々の改善案と、それらを組合せた部分組立品や、全体の組立品についても、改善前後の変更内容を明示することが重要である。

問題6 VE(バリュー・エンジニアリング)のフォローアップに関して、最も不適当なものはどれか。

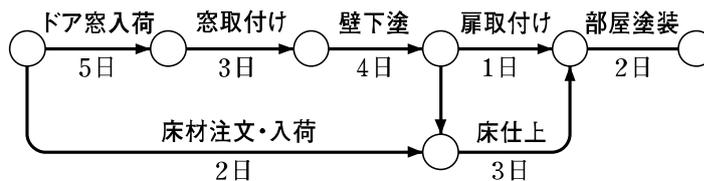
1. VE におけるフォローアップの作業は、計画通り実行され、収益、または原価に確実に反映され、実績効果が出たかどうかを確認することである。
2. VE プロジェクトの目的は、単なる原価低減でなく、実質的には、価値向上による収益の改善である。
3. VE におけるフォローアップは、項目の処理が目的ではなく、コストが予定値に達することが目的である。
4. 変更作業が完了し、目標に見合った実績原価内で、品質、性能が確保され、安定した生産が継続されれば、フォローアップを完了とするが、VE プロジェクトの全作業が終了したわけではない。

問題7 VE を実施するためのブレインストーミング(BS)に関して、最も不適当なものはどれか。

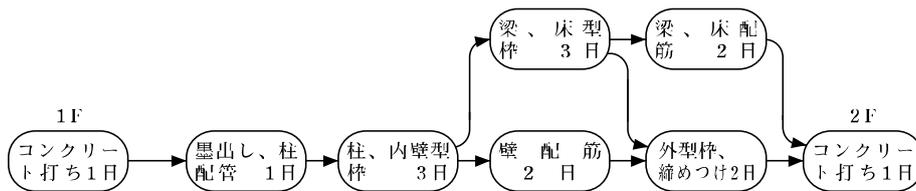
1. BS のルールは、他人の意見を批判し、量を少なくし、偏った考えを主張することが最も重要とされている。
2. BS は、自由奔放に発想することから、画期的・独創的なアイデアが誕生することが多い。
3. BS は、自由奔放に発想することが良いとされており、常識・経験・理屈は BS と無関係である。
4. BS は、他人の意見やアイデアに自分の考え方を便乗させ、応用して組み合わせたり、便乗すること等を発展させて考えるとよい。

問題8 以下に示した工程表や用語・記号の説明に関して、最も不適当なものはどれか。

1. この工程表は、アロー型ネットワークである。



2. ネットワーク式工程表の→○→における○印は、結合点であり、作業の開始または終了時点を示したものである。
3. この工程表は、S字カーブを示したものである。



4. ネットワーク式工程表の点線の矢印(...→)は、架空の作業(Dummy)の意味で、作業の前後関係のみを表し作業および時間の要素は含まないものである。

問題9 労働安全に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 労働基準法は昭和 22 年に制定され、労働安全衛生法は昭和 47 年に制定された。
2. 現在の建設業における死亡者数は現場の大型化や高層化に伴い、昭和 50 年代の時代より数倍多くなっている。
3. 労働安全の基本は「元気に家を出て、元気に仕事をして、元気に帰る」である。
4. 現在の目指すべき目標は単に「災害がない職場」から「より健康的で、より快適な職場」へと変化してきている。

問題10 「事業者の四重責任」に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 事故責任
2. 刑事責任
3. 行政責任
4. 民事責任

問題11 災害の発生したときに応急措置の要点に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 災害に直結した設備、機械等の動力は直ちに停止する。
2. 被災者を救出し応急手当をする。
3. 災害の目撃者の把握に努める。
4. 災害発生現場を直ちに復旧する。

問題12 企業が社会的に存立するための三要素に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 企業の利益
2. 株主総会
3. 企業の社会的責任
4. 従業員の幸福

問題13 「バードの法則」に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 米国のフランク・バードが提唱した法則である
2. 1 件の休業災害には 600 件のヒヤリ・ハットがあるという法則である。
3. 災害防止のために、事前に潜在する危険性・有害性を洗い出すという法則である。
4. この法則は 2000 年代に提唱された比較的新しい法則である。

問題 14 建設現場における工事経費の項目に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 動力用水光熱費、機械等経費
2. 交際費
3. 設計料
4. 補償費

問題 15 建設現場における施工計画に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 工事の契約書、設計図書などを十分に理解する。
2. 現場条件を調査する。
3. 施工計画は循環しない。
4. 安全計画、環境保全計画も作成する。

問題 16 特定建設資材廃棄物に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 建設発生土
2. アスファルト・コンクリート塊
3. コンクリート塊
4. 建設発生木材

問題 17 一般材料の発注手順に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 品目別数量表を作成しておくが良い。
2. 数量は、設計図に基づく見込み数量である。
3. 新製品やなじみの薄い資材については見本品提出により確認を得るようにする。
4. 搬入は現場の状況にもよるが、工程に応じ、施工に必要な数量を納入依頼する。

問題 18 品質管理の用語に関して、最も不適当なものはどれか。

1. TQC (Total Quality Control) とは、統合的品質管理または全社的品質管理のことである。
2. 品質が良いとは、長さ、重さ、正確さのような特性が、平均とバラツキという数値で捉えられていて、それが規格で与えられ、製造したものがその範囲内に収まっていることである。
3. 品質管理活動とは、計画(PLAN)→実施(DO)→処置(ACTION) →検査・確認(CHECK)の順番でくり返し活動を行うことである。
4. 顧客満足とは、CS (Customer Satisfaction) で客に満足してもらうために、何をどのように提供していくのかを考え、それを達成するための仕組みを作りあげる活動である。

問題 19 タイル下地に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 現場調合モルタルで軽量骨材を使用する場合は、JASS 15 M-104 に準拠したものとする。
2. 既調合モルタルを使用する場合は、CM-2を用いる。
3. 表面仕上げは、木鏝・スチロー ル鏝で目荒らしをする。
4. 公共建築工事標準仕様書では、現場調合の軽量モルタルを使用できるので、その仕様規定が表示されている。

問題 20 せっこうボード下地の適用仕様に関して、最も不適当なものはどれか。

1. せっこうボードの防耐火認定は厚さ 7.5mm 以上である。
2. せっこうラスボード (GB-L) は、厚塗り仕上げに適する。
3. せっこうボード (GB-R) は、薄塗り仕上げに適する。
4. 開口部の出隅には、継ぎ目を設けないように 1 枚のボードを切り搔いて割り付ける。

問題 21 仕上塗材の種類および呼び名に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 内装セメント系薄付け仕上塗材は、内装薄塗材 C と呼ぶ。
2. 内装消石灰・ドロマイトプラスター系薄付け仕上塗材は、内装薄塗材 W と呼ぶ。
3. 外装合成樹脂エマルジョン系厚付け仕上塗材は、外装厚塗材 E と呼ぶ。
4. 内装せっこう系厚付け仕上塗材は、内装厚塗材 G と呼ぶ。

問題 22 ラス下地の施工に関して、最も不適当なものはどれか。

1. ラスは、質量が 700g/m²以上の波形 1 号ラスを使用する。
2. ステープルは、1019J 以上のものを使用する。
3. ラス系下地用既調合軽量セメントモルタルの外壁の防火基準は、厚さ 16mm 以上とする。
4. 防水紙は、アスファルトフェルト 18kg/巻を使用する。

問題 23 仕事を効率的に進めるにあたって、部下への教え方に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 失敗をどのようにして成功にするかの工夫をさせる。
2. 問題が発生したら、冷静にその対応策を検討させる。
3. 仕事や人への小さな気配りを忘れないで行わせる。
4. 初めてのものには「やってみなきゃわからない」をモットーにさせる。

問題 24 部下に対して話を効果的に覚えさせるために行う効果的な方法に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 先に与えられた情報ほど、頭に入りやすく印象に残る原理を「首位効果」という。
2. 一番新しい時点で話されたことが、記憶に残る原理を「新近効果」という。
3. 一番初めに話のポイントを持っていくことを「切り出し」という。
4. これだけは伝えたい重要部分を長文で繰り返し話すことを「展開」という。

問題 25 部下とのコミュニケーションをする際の基本 4 原則に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 正確に話すことを、正確性の原則という。
2. 目的を持って話すことを、目的性の原則という。
3. リズムよく話すことを、適切性の原則という。
4. 経済性を心がけて話すことを、経済性の原則という。